

教科名	美術	学年	第 2 学年	教科担当者：郡司 藍子
-----	----	----	--------	-------------

《学習目標》

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

年間授業実施計画

学期	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
1	心のかたち	・抽象表現について学ぶとともに、自分の内面にある感情に向き合い、それらの持つイメージを膨らませて作品を表現する。	・アクリルガッシュやカッターナイフの使い方について学ぶ。 ・半立体の表現から心象表現を学ぶ。
	芸術家レポート	夏休みの課題として、芸術家についてのレポートをまとめる。	・気に入った作品や作者の自画像の模写や、特徴などをレポートにまとめる。
2	ステンドグラスのランブシェード	・ステンドグラスについて学び、光と影の効果や特性を生かしたイメージを膨らませる。使用できる色数や材料に限りがある中で、プッシュステンドを使って疑似的にステンドグラスの作品を表現する。	・デザインナイフの使い方について学ぶ。 ・光と影の表現を楽しむ
	鑑賞	作品を鑑賞し、ダヴィンチについて学ぶ。	作者の生き方や、作品について知る。
3	ドリンクパッケージデザイン	・パッケージデザインについて学び、自分の持つ願いとその願いを叶えるための飲み物という設定からイメージを膨らませて、実際にありそうな飲み物のパッケージを表現する。	・色彩の知識、構成美の要素、アクリルガッシュといった学習内容をよく活用しながら作品制作に取り組む。

《評価の観点および具体的な評価の方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	制作過程での造形的な表現、基礎知識を生かした創意工夫、 完成作品に表現された造形的な表現、基礎知識を生かした創意工夫、
観点2	豊かなアイデアスケッチ、主題を生み出す力、意図ある表現力、制作過程 での思考と試行錯誤、完成作品での表現力、作品鑑賞、 自他の作品へ の感想意見（授業での発表、記入）
観点3	道具の用意、授業態度、粘り強く工夫し取り組む力、自己マネジメント力、 提出状況、完成作品、プリントの記入、授業の振り返りと感想記入

《教科の約束事》

① 用意するもの

必ず持ってくる : 教科書、ファイル、筆記用具、濃い鉛筆（2B～）、色エンピツ

必要な時持ってくる：タブレット、アクリル絵具セット、定規、コンパス、雑巾、
制作に必要な材料、資料など

② 美術室では

服装 : 体育着またはジャージ（連絡があった場合のみ制服）

準備 : チャイムが鳴る前に美術室に来て、自分の作品や道具を準備する。（教室へは戻らない）

片付け：合図があったら、速やかに作品を提出する。道具をきれいにする。借りたものは元の
場所に返却する。机上、机回りをきれいにする。

③ 制作の進め方

制作の目標・方法・使う材料・条件・手順を考えて自分で計画を立てる。

次回必要なものや、やっておくべきことも確認する。

④ 提出 : クラス番号名前を必ず書いて、期限までに提出する。

（名前のない作品は評価できません。）

⑤ 欠席したら

クラスの美術係りや友達に「どんな内容だったか、プリントは配られたか、次の用意はなにか。」
を確認し、必要があれば申し出る。